



静岡県御殿場市

静岡県御殿場市萩原483 市長：若林 洋平

担当：健康福祉部健康推進課
〒412-0027 静岡県御殿場市西田中237-7
TEL:0550-82-1111/FAX:0550-84-9151
HP:<https://www.city.gotemba.lg.jp>
メール:kenko@city.gotemba.lg.jp

本市のデータ

(1)面積 194.90km²

(2)人口 (人)

17国調	22国調	27国調	R1.8.31住基
85,976	89,030	88,078	88,252
65歳以上人口比率(H31.4.1)			24.3%

(3)世帯数

17国調	22国調	27国調	R1.8.31住基
29,431	31,403	31,610	37,389

(4)沿革

昭和30年2月11日、御殿場町・富士岡村・原里村・玉穂村・印野村が合併し、御殿場市市制施行。
昭和31年1月高根村を、昭和32年9月小山町古沢地区をそれぞれ編入し、現在に至る。

(5)産業構造

区分	就業人口	就業人口	就業人口
	17国調	22国調	27国調
1次	1,533人 3.2%	1,175人 2.4%	1,198人 2.6%
2次	13,761人 29.2%	13,891人 28.5%	13,167人 28.4%
3次	31,415人 66.8%	31,163人 64.0%	30,788人 66.4%
他	283人	2,436人	1,206人
計	46,992人	48,665人	46,359人

本市の概要

御殿場市は、静岡県の北東部に位置し、麗峰富士と箱根山系の裾合に形成された高原都市です。また、この地は駿河湾と相模湾の分水界で、JR御殿場駅を挟んで南側は黄瀬川・狩野川を通して静岡県駿河湾へ、北側は鮎沢川・酒匂川を通じて、神奈川県相模湾へと水が流れています。

気候は内陸性の気候で、夏と冬・昼と夜の温度差が大きいです。標高が高いため、7～8月の盛夏でも涼しく過ごしやすい気温です。加えて年間を通して雨と霧が多く、特に霧の発生率は全国的にも高くなっています。

産業面では、東名高速道路の利用で首都圏から車で約1時間という立地条件もあり、自動車機械・食品等各種企業の工場や物流施設、研究所、研修施設が進出しています。富士山からの豊かな伏流水を用いた農業も盛んで、ごてんばこしひかりや水かけ菜、わさび等の栽培が行われています。

また夏の富士登山や温泉・アウトレットモール・地ビール施設等、観光資源にも恵まれ、年間およそ1,350万人の観光客が国内外より御殿場市を訪れています。

このように御殿場市は、わが国の最高峰である富士山や、箱根、富士五湖、伊豆といったわが国屈指の観光ゾーンの中心地として重要な位置にあるとともに、首都圏からの立地条件や、静岡県、神奈川県、山梨県の接点という地政学的条件、自然や観光資源等の環境的条件の整った街として、発展を続けています。

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

御殿場市では、平成27年度に策定された「第四次御殿場市総合計画」で、市民の心の健康管理の充実について、「心の健康相談に関する各種相談窓口の積極的・効果的な利用を促し、相談窓口の充実を図る」と施策目標を掲げている。

また、平成30年度に策定された「第1次御殿場市自殺防止計画」では、「気づく つなげる いのちを守る ごてんば」を基本理念に掲げ、市内の自殺者数を平成29年度と比べて、令和10年度までに30%以上減少させることを数値目標として設定している。

<具体的な取組み>

1. メンタルチェックシステム「こころの体温計」サービス提供

平成27年度より、市ホームページ上でメンタルチェックシステム「こころの体温計」サービスを提供している。

市ホームページ上の「こころの体温計」入口からアクセスし、自身や家族のメンタルチェックをすると結果がイラストで分かりやすく表示されるとともに、各種相談窓口等の連絡先が表示される。

本市における課題として、行政等により自殺予防に関する各種相談窓口を設けているが、利用者にとって相談先が分かりにくい等、相談窓口が有効に活用されていない等の課題がある。

また市総合計画にも相談窓口の積極的・効果的な利用の促進が挙げられていること

2. 各種相談窓口の開設

①臨床心理士による「こころの健康相談」

市民を対象とした、臨床心理士2名(市職員)による「こころの健康相談」を月2回(第2・第4木曜日)に実施している。

平成23年度より心理面からの市民生活の支援や自殺予防をめざして、市職員として臨床心理士を採用。心の健康に不安を感じている人や、その家族のための面接相談を実施し、市民の心の健康の確保と、ストレスや不安を要因とする自殺防止に取り組んでいる。

②「はればれ相談・はればれダイヤル」

学校・友人・親子関係など、青少年が抱える不安や悩み事に対して、気軽に相談しやすい環境を整えることで、青少年の心理面での安定を図れるよう、取り組んでいる。

3. コミュニティFMでの啓発活動

御殿場市及び隣接の小山町を放送対象地域としたコミュニティFM局「富士山GOGO エフエム」の市からのお知らせ番組「デイリーごてんば」内で、心の健康や自殺予防、自殺対策に関する市の取り組みについて、定期的に放送している。

放送対象地域の居住者約10万人に向けて、地域情報番組の中で情報を発信することで、住民に市の取り組みに気づいていただける機会を増やし、自殺防止への関心を高めるとともに、相談窓口や市の事業の利用促進を目指している。

4. ゲートキーパー養成

第1次御殿場市自殺防止計画ではゲートキーパーの養成を目標に掲げていて、窓口業務等で市民に接する機会の多い職員を対象に研修を実施し、悩みを抱えている人などの変化に気づき、早期に適切な窓口へつなげる体制を整えている。今後は地域の各種団体を対象に研修を計画・実施し、自殺防止対策の効果的かつ効率的な推進を図っている。

また、市職員を静岡県「ふじのくにゲートキーパー養成講座」へ派遣し、自殺防止に対する意識の向上を図っている。



食育推進キャラクター「ごてんばこめこ」